

高度先進麻酔科学入門 (有坂博史)

Introduction to Highly Advanced Anesthesiology (Hirofumi Arisaka)

キーワード

- ① 高度先進口腔医学
- ② 麻酔科学・全身管理
- ③ オレキシンの作用機序
- ④ 三叉神経痛の伝達部位の解析
- ⑤ 睡眠時無呼吸患者の全身管理

授業概要

麻酔科学は、本来生理学、薬理学などの基礎医学に根ざし、急性期の内科学、外科学、救急医学などの知識を組み入れた周術期の全身管理学である。内科学、外科学的な病態生理の理解なくして成り立つ臨床科目ではない。基本となる循環器、呼吸器、内分泌学などの内科学全般を講義し全身管理学の基礎を育成する。さらに、今後の高度医療・高齢者社会で遭遇するであろう疾患の病態生理を理解し、幅広く全身管理学・麻酔科学を研究する能力の基礎を養成することを目的として開講する。

授業科目の学修目標

麻酔科学は、生理学、薬理学などの基礎医学を基に、内科学、外科学、整形外科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻科などの医学全般の知識を背景にした周術期の全身管理学である。本科目では、今後の研究課題の基本となる基礎的な生理学、内科学的な知識を修得し、歯科治療時の難しい全身偶発症にも柔軟に対応できる実力を身につけることを目標にする。

授業計画

- ① 内科学・生理・薬理・麻酔科学の基礎 20コマ 有坂博史
- ② 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 4コマ 有坂博史
- ③ 基礎研究論
 - ・オレキシンの生理・作用機序 4コマ 有坂博史
 - ・睡眠時無呼吸症候群の病態 2コマ 有坂博史

教科書および参考書

新・病態生理でできた内科学シリーズ 医学教育出版社
麻酔への知的アプローチ 稲田英一 日本医事新報社
ICUブック 稲田英一監訳 メディカルサイエンスインターナショナル

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

特別な予備知識などは必要ありません。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 麻酔科学の基礎となる内科・生理・薬理の基本を説明できる。
- ② 臨床研究における倫理規範を理解し応用することができる。
- ③ 麻酔科科学研究の基礎を理解し実践することができる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	0%	0%	0%	90%	10%

評価の要点

- ・口頭試問は、授業終了後毎回行い知識の理解度を判定する。3%×30回=90%
- ・その他 学会発表を行う。10%×1回=10%

理想的な達成レベルの目安

高度先進麻酔科学入門の理想的な達成レベルは80%以上とする。